

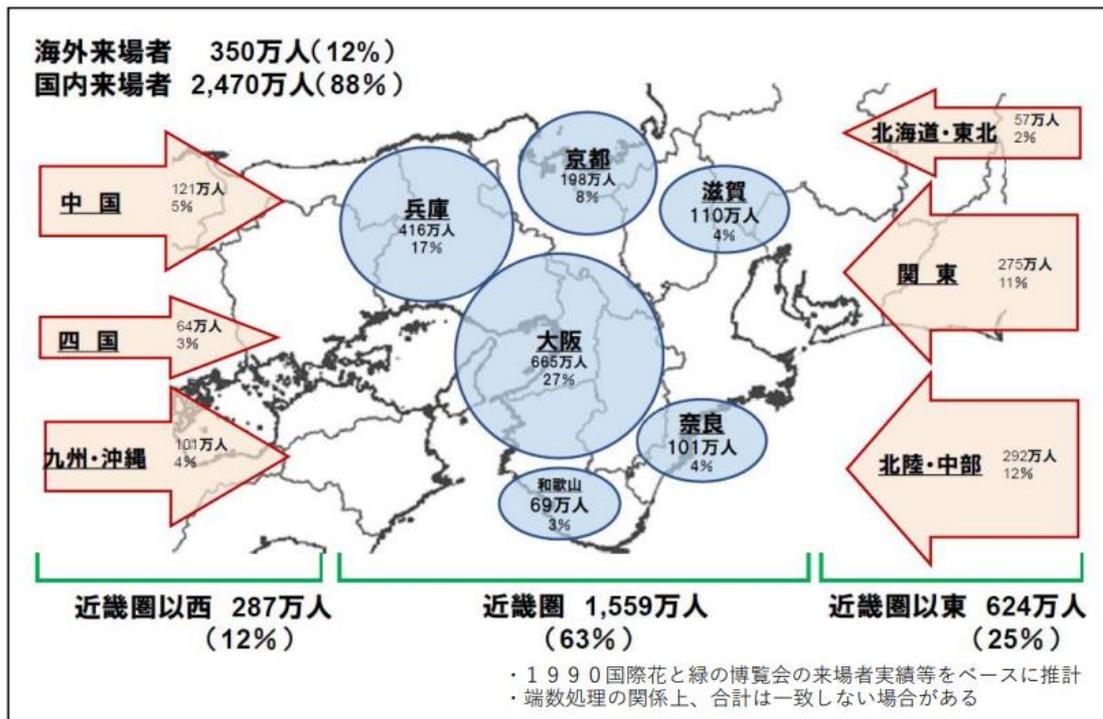
2024年度
《 データブックvol.19 》

2023年11月
株式会社 アド近鉄

想定来場者数約2,820万人のビッグイベント！

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、2025年4月～10月にて開催予定の「大阪・関西万博」。
万博開催と同時期に、近鉄車両でのラッピング広告や、関西エリアでの出稿需要にお応えするため大阪難波駅で特別セット商品を企画しておりますので是非ご利用ください。

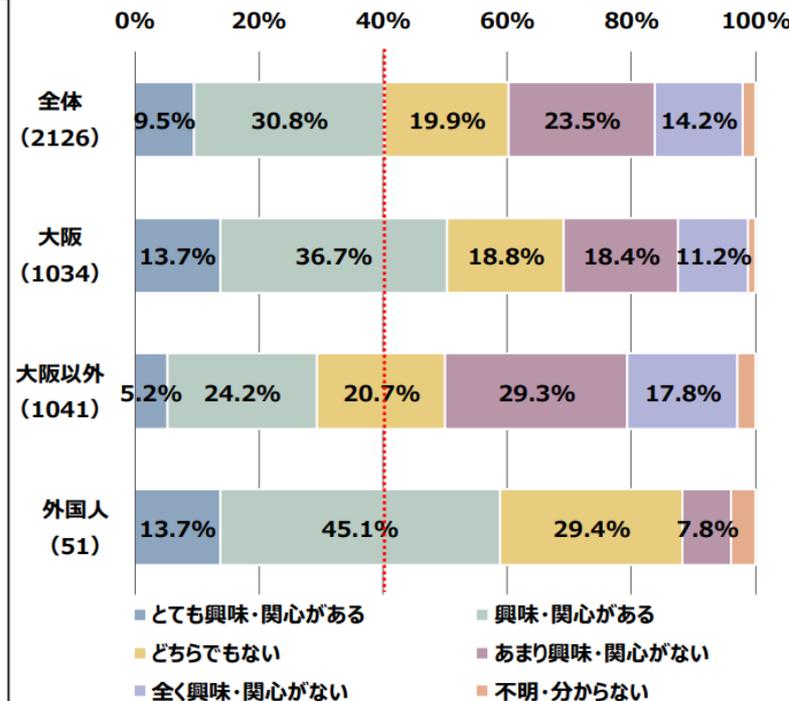
【方面別来場者内訳】



想定される来場者数は約2,820万人。
来場者総数のうち、国内来場者は約9割、海外来場者は約1割。
国内来場者数のうち近畿圏内が6割、近畿圏外が約4割と想定されています。

参考：2023年11月発表 2025年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会
「大阪・関西万博 来場者輸送具体方針（アクションプラン）」第3版

【大阪・関西万博への興味・関心度】



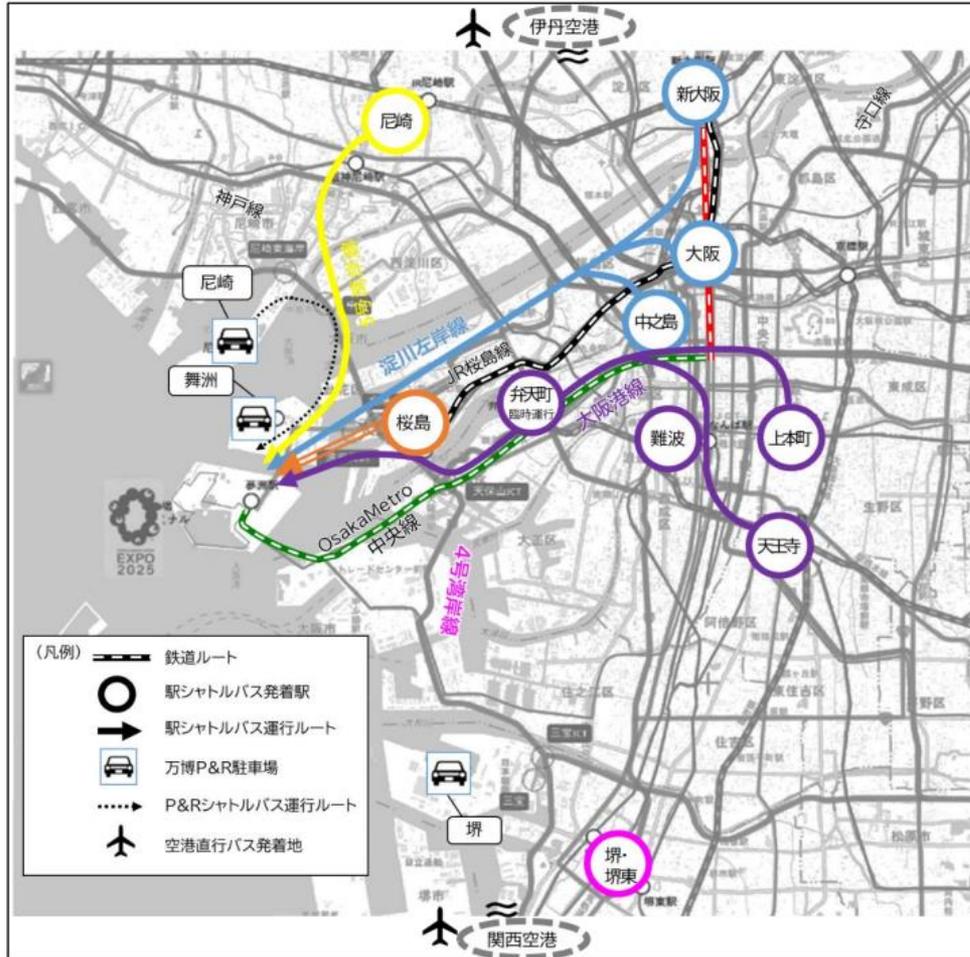
2,126名への調査の結果、全体の約40%が「興味・関心がある」と回答。大阪エリアでは約半数が「興味・関心がある」と回答している。「興味・関心がある」と回答した外国人の割合は大阪エリアよりも高くなっている。

参考：2020年11月30日～12月6日インターネット調査
大阪府「一般来場者のニーズ調査」

会場へのアクセスは鉄道が主流！

会場は大阪市臨海部の人工島「夢洲」。初の四方が海に囲まれた国際博覧会「海の万博」として開催されます。

大阪・関西万博へのアクセスとして最も輸送力があるとされているのが、万博会場の最寄り駅である「夢洲駅」に直接乗り入れが可能な唯一の鉄道であるOsaka Metro中央線です。



【会場までの主な交通手段】

①公共交通機関

- Osaka Metro中央線（鉄道/夢洲駅にて会場に直結）
- JR桜島線（鉄道+シャトルバス）
- 淀川左岸線（建設中区間を利用したシャトルバス）

②主要鉄道駅からの予約制シャトルバス

※近鉄沿線では、大阪上本町駅・大阪阿部野橋（天王寺）駅からシャトルバス運行、難波駅付近からもシャトルバス運行

③空港ターミナルからの直行バス

④中距離・長距離直行バス

⑤水上交通

⑥その他、徒歩、自転車 など



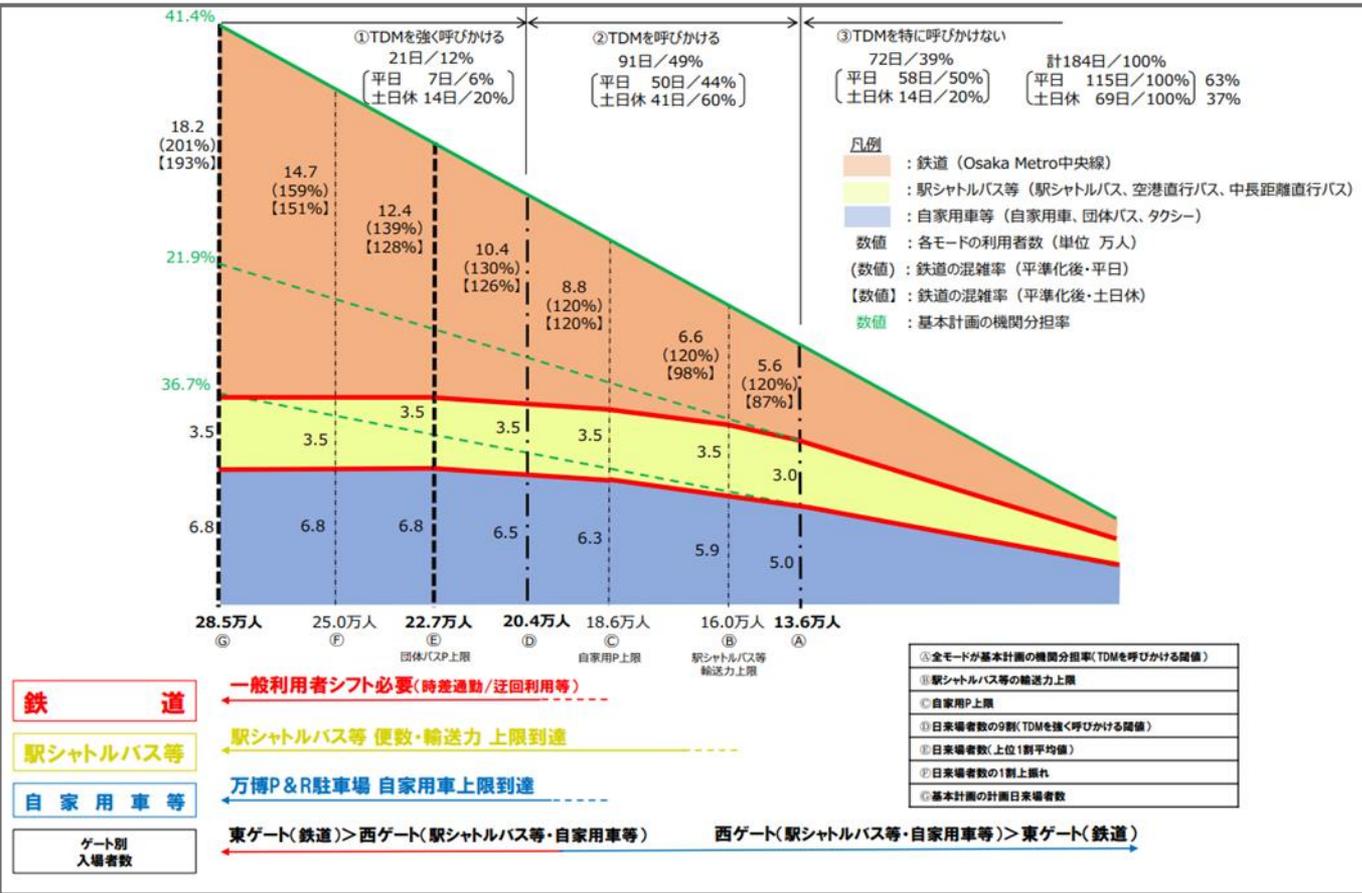
近鉄けいはんな線は奈良エリアから中央線に直結しています。

近鉄沿線利用者のみならず、大阪・関西万博来場者への広告訴求も大いに期待できます。



来場者数の約55%が鉄道（Osaka Metro中央線）を利用！そのうち約46%が近鉄車両！

OsakaMetro中央線は、近鉄けいはんな線が乗り入れしており、走行車両のうち近鉄車両は約46%(2023年11月現在)鉄道利用者の約半数近くが近鉄車両に乗車すると想定しています。



- 1日の来場者数が16万人を超えると・・・
⇒各バスターミナルの容量や運行便数から、限界に達する。
- 1日の来場者数がさらに増えると・・・
⇒18.6万人で万博P&R駐車場の自家用車の受け入れが限界に達し、22.7万人に達すると団体バスの受け入れも限界に達する。
- 1日の来場者数がおおむね20万人を超えると・・・
⇒鉄道利用の割合が加速度的に増加する！

最も輸送力が大きいOsaka Metro中央線への利用集中は必然。増便も検討されています。ピーク時の混雑率は約140%という予想も。これは大阪圏の主要路線の混雑率の平均を大きく上回る数字です。

それだけ多くの人の目に広告が触れるチャンスと言えます。

※混雑率：1つの鉄道路線における主要区間の最混雑時間帯1時間の混雑率（乗車人数/乗車定員）

万博来場者 日来場者数と機関分担率の推移

注4 TDM(交通需要マネジメント)とは、Transportation Demand Managementの略で、既存の交通システムの利用効率を最大化する目的で移動者側に行動変更を促す諸施策。

参考：2023年11月発表 2025年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会「大阪・関西万博 来場者輸送具体方針（アクションプラン）」第3版

コロナ前（2019年）との同月比較

※2019年の同月数値を100%とした場合の各月の比較比率です。

大阪地区

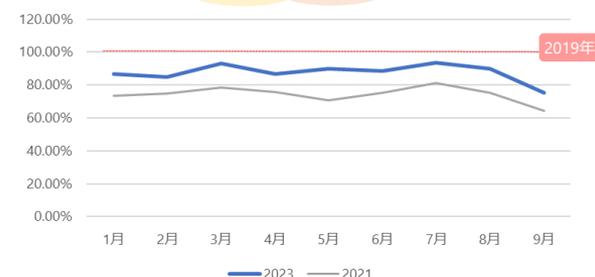
定期外



定期



合計



名古屋地区

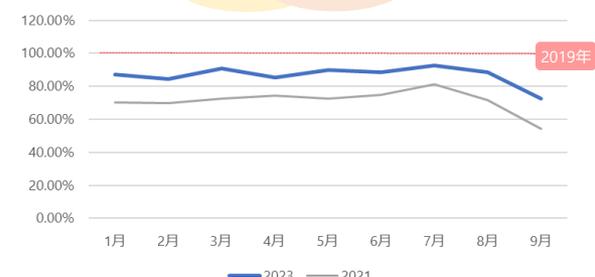
定期外



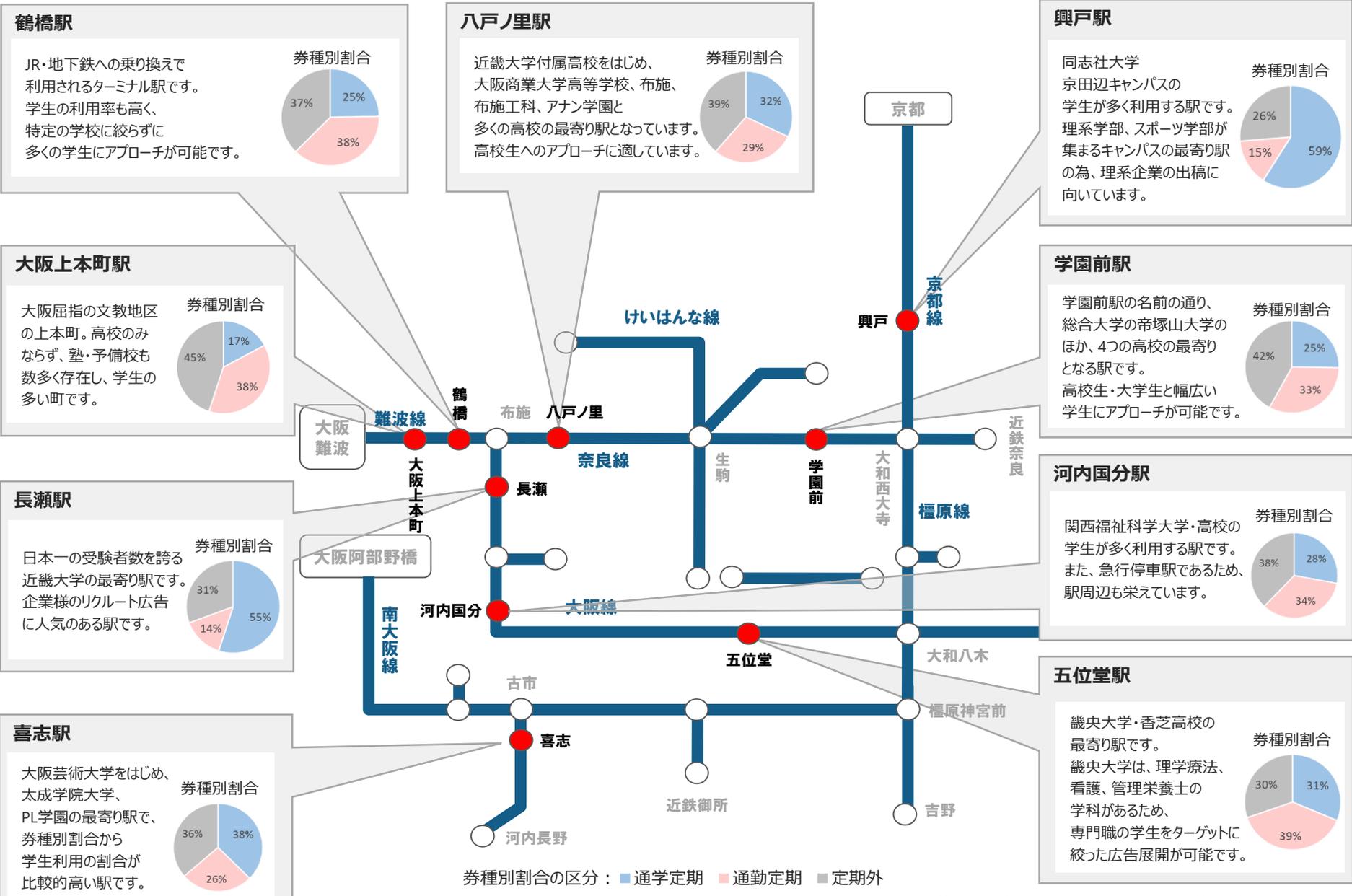
定期



合計



「定期外」は、大阪地区・名古屋地区ともにコロナ禍2年目（2021年）はコロナ前から4割近くまで落ち込んだ月もありましたが、今年は、おおむね8割まで回復しています。「定期」は、コロナ禍中も定期外ほどの大きな落ち込みはなく、コロナ前の8割程度の利用者数でした。今年は、コロナ前と同程度までの回復が見られる月もあります。定期・定期外ともに、一時期に比べ、コロナによる影響は薄まり、近鉄の利用者数は回復傾向にあることが分かります。

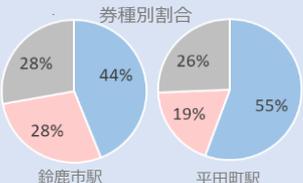


伊勢若松駅

鈴鹿線（沿線に複数高校あり）への乗換駅

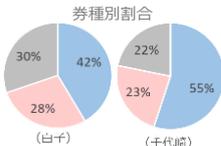
鈴鹿線：支線駅最寄りに高校多数。通学で利用されています。

沿線の高校最寄り駅



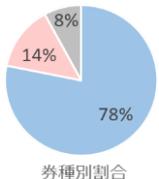
白子駅・千代崎駅

「鈴鹿医療科学大学」の最寄り駅。白子は最寄りに高校もあり、特急停車駅ですが学生利用率も高いです。



東松阪駅

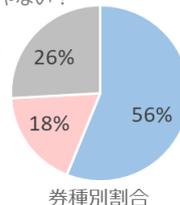
最寄りに大型の高校が2校。8割近くが学生定期利用者。ほぼ「高校生の駅」というイメージの駅。ローカル駅のため、媒体接触もされやすい。



宇治山田駅

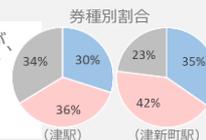
伊勢への観光利用だけじゃない！日常的には学生にも活発に利用されています。

駅最寄りには高校6校、大学1校があり、当駅から自転車通学の生徒も多数。



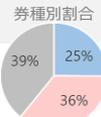
津駅（・津新町駅）

県庁最寄りで学生以外の利用も多いですが、西口改札（近鉄改札）側に複数の高校が集まっています。隣の津新町駅にも進学校をはじめ複数の高校が最寄りにあります。



近鉄名古屋駅

愛知県の有名私立大学の一つ、「愛知大学」の最寄り駅。また三重県内から名古屋市内などの大学に通学する主な乗換駅でもあります。



愛知大学へのアクセスには地上改札からが便利です。

地上改札への導線となる連絡通路。

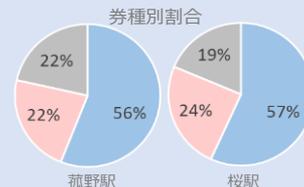


近鉄四日市駅

湯の山線や「四日市あすなろ鉄道」（沿線に複数高校あり）への乗換駅

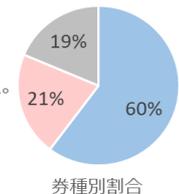
湯の山線：支線駅最寄りに高校多数。通学で利用されています。

沿線の高校最寄り駅（一部）



江戸橋駅

三重県唯一の国立大学法人「三重大学」の最寄り駅。三重の大学生へのリクルート対策には外せない駅です！



【参考】三重県内・主な進学高校の最寄り駅

※表記：最寄駅名（高校名）

桑名（桑名）、近鉄富田（四日市、晩 ※三岐鉄道沿線）、高田本山（高田）、津（津西）、津新町（津）、東松阪（松阪、三重）、宇治山田（伊勢）

※主な進学校より一部を抜粋してご紹介しております

券種別割合の区分：

■ 通学定期 ■ 通勤定期 ■ 定期外

※近鉄乗降人員調査（2022年11月）を元にアド近鉄算出